

番号	質問	回答
1	定期テストは通常の学級と一緒に行うのでしょうか。	生徒一人ひとりの状況に合わせて、個別に対応を考えていくことになります。時期をずらしたり、テストを受ける/受けないという選択肢については、現段階ではっきりと回答できないため、学校とも相談をしながら今後お示ししていきたいと考えています。
2	部活動は参加可能ですか。	自閉症・情緒障害特別支援学級は、通常の学級の生徒と一緒に活動することを目指す学級なので、参加は妨げません。部活動は生徒の自主的な活動なので、しっかりと活動ができるということが前提となりますので、自閉症・情緒障害特別支援学級の生徒については、そういった点も含めて学校・保護者・生徒で十分に話し合ってくださいということになります。
3	成績は通常級と同じ基準で評価されますか。	通知表や学習評価については、当該学年の評価規準に沿った評価と所見での評価を行う予定です。
4	介添員は何人配置されるのでしょうか。	東京都の基準に沿って行われる教員の配置に加えて、大田区で任用する介添員や講師を配置することで、より充実した教育活動の実現を目指しています。しかし、確実な配置人数に関しては新年度が始まってからしかお伝えできません。
5	体育や音楽等の科目はどのような指導内容で行いますか。評価の基準は通常級と同様でしょうか。	生徒の実態によっては、団体競技や合奏などの実施が難しい場合もありますが、指導内容は中学校学習指導要領及び教科書に準拠して行います。通知表や学習評価については、当該学年の評価規準に沿った評価と所見での評価を行う予定です。

番号	質問	回答
6	通常級と同様に内申点はつくのでしょうか。高校受験の内申書等で不利益になるようなことはありますか。	通知表や学習評価については、当該学年の評価規準に沿った評価と所見での評価を行う予定です。高校入試で不利益を被ることは一切ありません。
7	転学の場合制服は買い替えとなるのでしょうか。	原則、買い替えていただきます。
8	場面緘黙症がある子どもに対しての「自立活動」を具体的に、どのように行っていくのか知りたいです(家族以外の人と会話が困難であるため、そのような活動に参加できるか不安があります)。	例えば、個別指導や小集団活動の中で、会話以外で意思表示する方法や、困っている時に支援要請を行う方法を身に付けさせるとともに、状況絵カードなどを活用したソーシャルスキルトレーニングを実施し、状況に応じた気持ちの表現の仕方を身に付けさせ、実践できるように指導することなどが考えられます。そのようにして身に付けた力を、交流及び共同学習に生かしながら、少しずつ参加できるようになっていくことを目指します。
9	介添員と講師の人員確保を確実に行う必要があるのではないのでしょうか。最低何名配置予定なのか人数を示してほしいです。また、人員が確定する時期はいつ頃になりますか。	東京都の基準に沿って行われる教員の配置に加えて、大田区で任用する介添員や講師を配置することで、より充実した教育活動の実現を目指しています。しかし、確実な配置人数に関しては新年度が始まってからしかお伝えできません。
10	交流及び共同学習は一切行わずに、個別指導又は小集団指導だけで授業を受けられますか。	自閉症・情緒障害特別支援学級の進学や将来の自立と社会参加を考えた場合、通常の学級との交流及び共同学習をできる限り充実させていくことが望ましいと考えます。交流及び共同学習を一切行わないことは考えられません。

番号	質問	回答
11	ギフテッドに対して、授業の内容を発展的にする配慮はしてもらえますか。	学習指導要領及び教科書に準拠して指導を行います。発展的な内容についても、それらに付随する内容となります。
12	場面緘黙があり、発達検査がなかなか行えず書類が提出できません。診断書にその旨を書いていただくことで代用は可能でしょうか。	心理発達検査は、必要となります。部分的な検査の結果でも構いませんので提出をお願いします。
13	不登校の経験があります。 入級後に、登校が難しくなった場合にはどのような対応になりますか。	そのような状況が生じた時点で教育相談にご相談をいただき、検討をしていただくこととなりますので、現時点でのお答えは難しいと考えています。 検討の中でつばさ教室の利用などが適切であるとなった場合には、退級等の選択肢もありうると考えています。
14	神経発達症の診断でも入級可能でしょうか。	神経発達症には、注意欠如・多動症や自閉症スペクトラム症等の種類がありますので、神経発達症の診断だけでは、自閉症・情緒障害特別支援学級の対象となりません。
15	「知的障害が無い」とは WISC の数値のみで決まるのでしょうか。以前境界知能と診断されたが成長して自閉症のみとなった場合は対象となりますか。	知的な発達に遅れがないことについては、発達検査の数値のみで決まるものではなく、診断書及び発達検査の結果をもとに総合的に判断させていただきます。

番号	質問	回答
16	通学にはバスや自転車を使用してもいいですか。	自転車での通学は認められていません。通学に関しては、公共の交通機関(電車・バス)をご利用いただくこととなります。
17	他自治体で自閉症・情緒障害特別支援学級に通っていて、夏休みに大田区に転入予定の場合は、申込みを個別に受けていただくことは可能でしょうか。	就学相談の対象となるのは、申込み期間に大田区立の小中学校に在籍している児童・生徒のみです。 それ以降に転入してきた方は対象となりません。通常の学級に在籍し、特別支援教室(サポートルーム)の利用を検討していただくこととなります。
18	現在不登校の状態であるため、入級できてもすぐに毎日登校できる状況になることは考えにくく、入級適切とはならないのではないかと思います。仮に夏休み以降に学校に行く意欲が出てきたときに、自閉症・情緒障害特別支援学級に入級することは可能でしょうか。	現在不登校であっても、就学相談を申し込んでいただくことは可能です。 自閉症・情緒障害特別支援学級は日常的に継続して指導を行うことで、課題の改善を図ることを目的としていますので、入級後は通い続けていただくことを前提としています。 登校状況等については、就学相談の過程でお子さんの様子を見させていただくので、ご相談しながら進めさせていただきたいと考えています。 令和7年度入級の申込み期間は、決まっていますので、仮にその後に入級を希望された場合は、令和8年度入級の対象となります。
19	最大3学級設置とのことですが、学年ごとのクラスとなるのでしょうか。学年ごとに3学級で合計9学級となりますか。	学年ごとに3学級ではなく、1～3年の全学年あわせて最大3学級 24 人までが定員となります。学年ごとの人数制限はありません。